

CASBEE-建築(新築)2014年版
(仮称)モントレー東比呂 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境			0.40		-			3.7
1 音環境		2.9	0.15	3.3	1.00			3.3
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.7	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能	コンクリート180=Dr-50相当	3.0	-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	LL-45	3.0	-	4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	LH-50	3.0	-	4.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.01	3.0	-			
2 温熱環境		2.6	0.35	5.0	1.00			4.7
2.1 室温制御		3.0	0.50	5.0	1.00			
1 室温		3.0	0.63	-	-			
2 外皮性能	断熱性能等級4を満たす	3.0	0.37	5.0	1.00			
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		2.3	0.25	2.7	1.00			2.7
3.1 屋光利用		1.8	0.31	2.5	0.50			
1 屋光率		1.0	0.57	2.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 屋光利用設備		3.0	0.43	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.29	3.0	0.50			
1 屋光制御		2.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.14	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.26	-	-			
4 空気質環境		3.5	0.25	3.8	1.00			3.8
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	仕上材は規制対象外またはF☆☆☆☆を使用する	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	3.6	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能	居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している	3.0	-	5.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		1.0	0.01	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		1.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能			0.30					3.0
1 機能性		2.9	0.40	2.6	1.00			2.6
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	3.0	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		4.0	-	3.0	1.00			
3 バリアフリー計画	基準を満たす	4.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40			
1 広さ感・景観		1.0	0.02	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		2.0	0.02	-	-			
3 内装計画		1.0	0.97	1.0	0.50			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い建材の採用	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30					3.2
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		4.0	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級2	4.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	磁器質タイル、アクリル樹脂系吹付タイル40年	5.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	上位3種がB以上、Eは不使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性			2.8	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.3	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり			4.2	0.01	3.6	0.50	
1	階高のゆとり	1階物販店舗階高3.96m、2~14階住宅用途階高2.96m	5.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.01	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.97	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		高性能断熱材の採用	4.9	0.20	-	-	4.9
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.95	4.4	0.50	-	-	4.4
3.1 集合住宅以外の評価(3a.3b)			3.0	0.05	-	-	
3.2 集合住宅の評価(3c)		LED照明等の高効率設備機器の採用	4.5	0.95	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 集合住宅以外の評価			3.0	0.05	-	-	
4.1.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.1.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
4.2 集合住宅の評価			3.0	0.95	-	-	
4.2.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
1.2.2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		RC-40(路盤材)	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS下地の採用	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		防水工事のプライマー	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
3.2.1 消火剤			-	-	-	-	
3.2.2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3.2.3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率=82%	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
2.1 大気汚染防止		エコジョーズの採用	4.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
2.3.1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	
2.3.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
2.3.3 交通負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
3.1.1 騒音			3.0	1.00	-	-	
3.1.2 振動			-	-	-	-	
3.1.3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
3.2.1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
3.2.2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3.2.3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70	-	-	
3.3.2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	